

平成31年度 第1回 学校評議員会 議事録

1 日 時 令和元年6月25日(火) 15:40～16:40

2 場 所 千厩高等学校 校長室

3 出席者 学校評議員 千葉敏之氏、千葉弘幸氏、佐原正人氏、 後藤千春氏
学校職員 校長、副校長、事務長、総務課職員

4 次第

- (1) 開会のことば
- (2) 委嘱状交付
- (3) 校長挨拶

今年度はソフトボールが17年ぶりに県大会優勝した。現在は、宮崎県インターハイに向けて頑張っている。

また、ボクシング・ソフトテニス・吹奏楽部等も大変活躍している。

千厩高校の子供達は礼儀正しく良い子達で、中学校訪問等でも高い評価を頂いている。

○地域貢献活動の推進

与えられたボランティアだけではなく、自分たちで課題を見つけて考え、各関係機関と連携して行動する。そういった活動をさせていきたい。(生徒会)

○いじめに対して

学校組織として取り組んでいく。職員全体で共通認識をもち、6月には、生徒達に全校集会を行っている。

いじめ根絶は難しいことであるが、そこを目指し、痛みのわかる子供達を育てていきたい。

○学校経営計画

昨年度までのものを踏襲しているものもあるが、年度初めに主任の先生方にアンケートをとり、主任と面談をし、達成指標等を決めており、教職員と目標を共有している。

また、千厩高校には普通科・生産技術科・産業技術科の3科があることの強みを生かしていきたい。

学校経営に地域の声を反映したいと考えていますので、忌憚のないご意見を頂きたい。

(4) 自己紹介

(5) 学校経営説明

ア 令和元年度学校経営計画【校長】

イ 学校概況説明【副校長】

ウ 協議・意見交換

【評議員】 ソフトボールインターハイ出場にあたり、遠征費用について心配している。

PTAのOBから寄付をしても良いとの声が上がっているのだが。

【事務長】 インターハイの計画（事前の強化試合などについても）を立てているところである。

費用として百万単位でかかると予想される。

試合は7月28日から31日までの4日間であるが、事前の強化試合も組む予定である。

【評議員】 寄付の窓口はどうなりますか。

【校長】 来年度以降もインターハイ出場があり得るので、そこも踏まえて寄付を募るかどうかを検討中である。

【評議員】 寄付したいという声が出ているうちに、寄付を募ったらいかがか。

また、国道284号の歩道橋にインターハイ出場の横断幕をかけてはいかがか。

【事務長】 現在検討中である。

【評議員】 新テストに向けて、千厩高校としてどのような受験対策をとっていくのか。

【副校長】 英語の外部試験について、大学の方針がまだ未確定な部分もあるが、本校では英検、GTECを取り入れて対応しようと考えている。

また、受験情報機関から教科担当者中心に様々な情報を収集している。

【校長】 新テストにおいて国語の問題に関しては、読みとることは難しいことではない。本校ではNIEなどを通して表現することの訓練をしている。また、課題発見・問題解決などの経験から、多様な力が育成されていくと考えている。

【評議員】 先生のアンケートから、部の統廃合が必要だという意見もあるが。

【校長】 生徒数の減少による部員不足に加え、厳しい運動部を避ける傾向による部員不足があるため、このような意見が出ている。

エ 提言

【評議員A】 地元に残りたい生徒が千厩高校に入っている。

しかし、部活動で他地区の学校に行っている子供達が多い。女子はソフトボール部があるが、男子の千厩高校の目玉になるような部活があった方が良いのではないか。地域を巻き込んで、目玉になるスポーツを強くすることが必要ではないか。(例 花泉ソフトボール⇒千厩高校ソフトボール)

【評議員B】 藤沢中学校ではソフトテニスが盛り上がっている。千厩ではどうか。

学校としても、生徒ボランティアを送り出すのが大変なのではないか。(たとえば交通などの面でも無理は言えないため)

ボランティアにポイント制を導入して、ボランティアポイント〇〇点、として、何か特典を考えれば、生徒達は積極的に参加するのではないか。

【評議員C】 生徒達が、活躍できるような体験をして、将来自信を持って活躍できるようになって欲しい。

【評議員D】 昨年の千厩町の「100人の女子会」に千厩高等学校の生徒が参加しており、更にお祭りなど様々な活動にも数多く参加しているが、もっともっと千厩高校の魅力をアピールした方が良いのではないか。

- (6) 第2回学校協議委員会の開催時期について
来年1～2月にかけて実施予定、後日調整する。